



余市宇宙記念館からのお知らせ



冬期間の宇宙記念館の運営について

観覧について

宇宙記念館は4月16日(金)まで、展示施設の観覧は休止しています。
令和3年度の観覧は4月17日(土)よりスタートします。

★天体観望会は当面の間、開催を見合わせます。

施設の利用について

冬期間は宇宙記念館を有効に活用していただくため、多目的シアターや会議室などの各施設を利用できません(有料)。各種会議等にご利用ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用を制限する場合がございます。詳しくは、お問合せください。

余市宇宙記念館では「サポートボランティア」を募集しております。

※詳細は(☎ 21-2200) お問合せいただくか
余市宇宙記念館ホームページ
(<https://www.spacedome.jp>) をご覧ください



◀ホームページをご覧ください
いただけます。

星の明るさについて

空に見える星には、明るい星や暗い星があります。

天文学では、星の明るさを表すのに「等級(とうきゅう)」という単位を使っています。

数字が小さいほど明るく、マイナスがつくと、もっと明るいことを示しています。

等級が1.0変わると明るさは2.5倍増すので、1等級と6等級では100倍も違うこととなります。

惑星のように、地球と太陽の位置関係により表面積が変化して、明るさが変わるものは、そのときの明るさを等級で表します。

金星の場合は、もっとも明るいときには、マイナス4.9等級、もっとも暗いときにはマイナス3.8等級となります。

一番明るい太陽は、なんと約マイナス27等級、2番目に明るい満月は約マイナス13等級。また、シリウス(おおいぬ座)はマイナス1.5等級、スピカ(おとめ座)とアンタレス(さそり座)は1.0等級の明るさです。

星の明るさ表 (1等級の明るさを1とした場合の各等級の明るさ)

等級	-4等級	-3等級	-2等級	-1等級	0等級	1等級	2等級	3等級	4等級	5等級	6等級
星の明るさ	100	40	16	6.3	2.5	1	0.4	0.16	0.063	0.025	0.01
	← 明るい					暗い →					

ほごせら情報

国立天文台のホームページ (www.nao.ac.jp/astro/sky/2021/03.html) から3月のほごせら情報をお届けします。

★月

新月は13日、満月は29日です。

★金星

日の出前の東の低空に位置しています。26日以降は日の入り後の西の低空に位置するようになります。見かけの位置が太陽に近く、観察は難しいでしょう。

★火星

おつし座を東に移動しています。日の入り後、南西から西の空に見え、明るさは0.9等級から1.3等級。

★木星

日の出前の南東の低空に位置していますが、見かけの位置が太陽に近く、観察には適していません。

★土星

日の出前の南東の低空に位置していますが、月末にかけて高度が徐々に上がり、観察しやすくなります。明るさは0.7等級から0.8等級。



余市宇宙記念館では「館内案内パンフレット」に掲載する広告を募集しています。

申込み期間 3月2日(火)～12日(金)

申込み・問合せ 余市宇宙記念館 ☎ 21-2200 (詳細は町ホームページをご覧ください)

余市町の空間放射線量率 1月22日～2月17日の本町の空間放射線量率は「平常レベル」でした。
(最高値: 4.4 nGy/h、最低値: 2.3 nGy/h、平均値: 2.6 nGy/h) ※平常時は1.0～6.0 nGy/h程度